

第3次静岡市 産業振興プラン 実行計画 (令和7年度)



【実行計画策定の趣旨】

本市は豊かな自然環境に加え、地理的要件や、古くからの地場産業、人と物の交流、清水港の発展などにより幅広い分野の産業が多彩にバランスよく集積してきました。

しかし、人口減少や少子高齢化、グローバル化の進行や新たな感染症の発生、脱炭素化の機運の高まりなどにより本市を取り巻く社会経済環境が大きく変化していく中で、地域社会が一体となり本市経済を支える中小企業の振興に取り組むため、平成31年4月に「静岡市中小企業・小規模企業振興条例」を施行しました。

これらを踏まえ、令和5年度から令和12年度までの8年間を計画期間とする「第3次静岡市産業振興プラン(以下「本プラン」という。)」を策定し、今後の本市経済の成長等につなげていくこととしています。

実行計画は、本プランに掲げる将来像の実現及び目標の達成に向けた取組を体系化・整理し、適切に進捗管理を行っていくため毎年度策定するものです。

【プランの目指す将来像、目標】

1 目指す将来像

「共創による新たな挑戦を通じ、豊かに経済成長を続けるまち」

2 基本的な考え方

共創による新たなイノベーションの創出を通じて、企業の競争力・成長力を高め、人材の成長や流入を促進し、選ばれる地域としての魅力を高めることで新たな企業の立地や参入を促進し、それが次なるイノベーションにつながっていくという好循環を生み出すことで、本市経済の豊かで持続的な成長を実現します。

3 産業振興の目標

目標 [↩]	プラン策定時 [↩]	目標値（令和12年度） [↩]
市民一人当たりの [↩] 市内総生産額 [↩]	533 万円／人 [↩]	650 万円／人 [↩]
市内総生産額の増加 [↩]	3 兆 7,194 億円 [↩]	4 兆 2,000 億円 [↩]
働きやすいまちだと [↩] 思う人の割合の増加 [↩]	41.2% [↩]	50.0% [↩]

令和7年度実行計画の全体像・考え方

第3次産業振興プランにおいて目指す将来像「**共創による新たな挑戦を通じ、豊かに経済成長を続けるまち**」の実現に向け、市政運営の基本方針である「社会の大きな力がつながる」×「世界の大きな知が集まり、つながる」を軸に社会変革を加速させるため、「**社会共有資産の有効活用の推進**」や「**共創による取組の推進**」を重視した予算編成

基本方針1 共創によるイノベーション創出の推進

市民、産業界、大学等研究機関、行政が、企業規模、業種、地域などの垣根を越えて、ワンチームでともに新しい価値を創造していくための共創の「仕組み」づくり、「場」づくりを進めます。

＜令和7年度の主な事業＞

- ✓ **コ・クリエーションスペース運営事業（26,400千円）【拡充】**
- ✓ 産業支援施設（産学交流センターほか）による支援（210,094千円）
- ✓ 駿河湾・海洋DX先端拠点化計画推進事業（246,000千円）
- ✓ 三保飛行場利活用事業（20,500千円）
- ✓ 海上活用研究等支援事業（59,725千円）

基本方針2 企業の競争力や成長力の強化

企業が直面する想定外のリスクや恒常的な課題の解決に向けた支援を行うとともに、新規事業の創出や既存事業の高度化等、積極的な取り組みを行う企業を支援するほか、本市の産業競争力の維持・強化のため、スタートアップ創出支援に取り組みます。

＜令和7年度の主な事業＞

- ✓ **スタートアップ協業等促進事業（283,750千円）【拡充】**
- ✓ **中小事業者向けDX支援事業（32,000千円）【拡充】**
- ✓ 中小企業海外販路拡大支援事業（12,500千円）

基本方針3 本市産業を支える人材の育成・確保

少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少や働き方の多様化、変化する経済環境や社会情勢への対応など、喫緊かつ継続的な課題に直面している企業の人材の育成・確保に繋げるための取り組みを推進していきます。

＜令和7年度の主な事業＞

- ✓ **市内企業と市の協働による高度専門人材育成講座（1,500千円）【新規】**
- ✓ 多様な就労困難者の雇用推進プロジェクト（33,440千円）
- ✓ 移住就業等補助金（169,500千円）
- ✓ **移住者就職応援補助金（25,000千円）【新規】**
- ✓ スタートアップ協業等促進事業（次世代人材育成）（10,250千円）

基本方針4 選ばれる「地域」を目指した本市プレゼンスの最大化

「雇用の場の確保・創出」、「企業・就業者の収入増加」等の好循環を実現するため、本市の強みを活かした賑わいづくり、地域ブランドの醸成等の取り組みを通じて、「選ばれる地域」となることを目指します。

＜令和7年度の主な事業＞

- ✓ **企業立地促進事業費補助金（1,460,000千円）【拡充】**
- ✓ **デジタルエンタテインメント企業誘致事業（16,870千円）【拡充】**
- ✓ JR静岡駅北口国道横断検討事業（21,000千円）
- ✓ 東静岡地区まちづくり基本構想策定等事業（57,600千円）
- ✓ **アリーナ整備事業（1,076,624千円）【拡充】**

重点的取組「戦略産業の振興」

特徴的な地域資源を活かした本市のブランド力を高める産業や、本市が持つ強みを活かすことができ、本市経済をけん引する力を秘めた5つの産業分野を位置づけ

＜**海洋産業**＞ 駿河湾に面し、豊かな海洋資源と研究機関、清水港を有する本市の立地を活かし、海洋・水産分野における 新事業創出等を推進

＜**清水港・ロジスティクス産業**＞ 清水港に集積する物流産業を中心として、社会基盤の活用及び内陸拠点の整備・連携により、効率的で強靱なロジスティクス産業を育成

＜**食品・ヘルスケア産業**＞ 有カメーカーや研究機関が集積している食品産業を基盤として、医療・介護分野等のヘルスケア産業を育成

＜**観光・ブランド産業**＞ 本市の文化的・歴史的な資源を活用した観光施策の実施及びプラモデル・お茶等の本市の特徴的な地域資源を活かした産業の活性化

＜**文化・クリエイティブ産業**＞ クリエーターの育成・集積を通じた、他産業の高付加価値化や新事業創出の促進

重点的取組「社会課題の解決に向けた横断的取組」

コロナ禍を通じた社会変容やカーボンニュートラルの実現、デジタル化社会の推進等の国内外の動きに呼応して、社会課題の解決に向けた横断的取組を実施

＜**脱炭素社会の推進**＞ 脱炭素先行地域の本市指定を契機として、官民連携による積極的な取組を推進し、経済と環境が両立した持続可能な脱炭素社会を図る

＜**DX・デジタル活用による事業高度化、生産性向上**＞

生産年齢人口が減少し、企業の労働力確保が年々厳しさを増しているなか、DXやデジタル技術を活用した既存事業の高度化や生産性向上に資する事業に取り組む企業を支援し、競争力や成長力を向上

基本方針1 共創によるイノベーション創出の推進



- 世界の大きな知が集まり、共創によりつながるための下支え
- 本市の持つ「場の力」を活かした、関係機関との連携による海洋研究・海洋産業の世界的拠点化

【成果目標】
共創プロジェクト
立ち上げ数

8件/年(R3)
↓
延べ40件(R8)
延べ80件(R12)

多様な主体が集まる共創の場の提供

- ✓ **【拡充】コ・クリエーションスペース創出事業** R7当初予算：26,400千円
 - 将来の予測が難しい現在のビジネス環境の中で、地域活性化による持続的な経済発展を実現するため、企業、学生、行政など、多種多様なプレーヤーが相互につながりオープンイノベーションを創出する「エコシステム」の確立を目指した拠点を運営
- ✓ **産業支援施設による支援** R7当初予算：210,094千円
 - 産学交流センター及び清水産業・情報プラザにおける、新事業創出・創業等に向けた産学マッチング支援、産学共同研究の推進 など



場の力を活かした海洋研究の推進、海洋産業の活性化

- ✓ **駿河湾・海洋DX先端拠点化計画推進事業** R7当初予算：246,000千円
 - 駿河湾・清水港を活かした海洋研究・産業の拠点形成に向け、地域内外の産学官連携による大学改革、海洋データの基盤整備及び利活用、海洋DX共同研究開発・事業化推進等を実施
- ✓ **三保飛行場利活用事業** R7当初予算：20,500千円
 - 三保飛行場の立地・環境等の優位性を活かした、次世代エアモビリティの研究開発・産業化や、観光、防災等、時代のニーズにあった多面的有効活用を進めるため、活用可能性や課題・条件の整理及び実現に向けた方針策定を実施
- ✓ **海上活用研究等支援事業** R7当初予算：59,725千円
 - 駿河湾を活用した産業や研究、地域活性化事業、災害対応などの幅広い分野における活動を促進するための台船を導入



基本方針2 企業の競争力や成長力の強化



- 市内中小事業者の社会経済環境の大きな変化への対応に向けた、競争力・経営力の強化のための取組を支えるため、DXによる生産性向上、海外販路の拡大・開拓に対する支援を実施
- 「世界の大きな知」であるスタートアップを呼び込み、地域との連携を加速

【成果目標①】
支援先
事業者数

103者/年(R3)
↓
延べ500者(R8)
延べ1,000者(R12)

【成果目標②】
スタートアップ
支援件数

—
↓
延べ20件(R8)
延べ40件(R12)

スタートアップとの共創

✓ 【拡充】スタートアップ協業等促進事業

R7当初予算：283,750千円

- ・ 「世界の大きな知」であるスタートアップと「地域社会の大きな力」である地域の企業、団体、大学等との協業による地域課題、行政課題の解決を促進し、地域経済活性化につなげるため、共創ビジネスプランコンテスト、市内イノベーション創出支援等を実施

DX支援による生産性向上

✓ 【拡充】中小事業者向けDX支援事業

R7当初予算：32,000千円

- ・ 新たなビジネスモデルの創出や生産性向上及び付加価値向上による市内中小企業の持続的な成長を支援するため、IT導入に向けたワンストップ相談窓口の設置、デジタル技術導入や企業内DX人材育成に係る一部助成、専門家による伴走支援等を実施



海外販路の開拓

✓ 中小企業海外販路拡大支援事業

R7当初予算：12,500千円

- ・ 市内事業者の海外販路の開拓及び拡大を図りその成長を促進するため、専門家による輸出に向けた規制への対応などを含めた海外向けECサイトへの出展支援や出展後の伴走支援(現地での営業代行・オンライン商談など)を実施



基本方針3 本市産業を支える人材の育成・確保



- 喫緊かつ継続的な課題に直面している市内事業者の人材の育成・確保に繋げるため、多様な人材の活用、移住・定住の推進に向けた取組を実施
- 本市の未来を支える、アントレプレナーシップあふれる人材を育成

【成果目標】
人材育成に
取り組んでいる
企業の割合

69.6%(R3)
↓
80.0%(R8)
90.0%(R12)

多様な人材の確保・育成

- ✓ **【新規】市内企業と市の協働による高度専門人材育成講座** R7当初予算：1,500千円
 - 企業の実務的な課題解決(DXの推進、業務の効率化など)に資する講座を実施し、企業からの受講者(従業員)の専門的な能力やスキルの習得を支援
- ✓ **多様な就労困難者の雇用推進プロジェクト** R7当初予算：33,440千円
 - 多様な就労困難者(障がいがあるが障害者手帳を持っていない人、難病患者、ひとり親など)を含む誰もが希望する形での就労や社会参加ができるよう、幅広くかつ総合的な支援体制を整備し、就労希望者と企業とのマッチング支援、企業へのインクルーシブ雇用の普及、コンサルティング支援等を実施



移住・定住の推進

- ✓ **移住就業等補助金** R7当初予算：169,500千円
 - 市内への移住・定住の促進及び地域社会を担う人材の確保を図るため、東京圏から静岡市に転入し、就職、起業又は就労する者に対する助成を実施
- ✓ **【新規】移住者就職応援補助金** R7当初予算：25,000千円
 - 県外から本市への移住及び就業を促進するため、市内中小企業等へ就職した移住者を対象に補助を実施



未来人材の育成

- ✓ **スタートアップ協業等促進事業(次世代人材育成)** R7当初予算：10,250千円
 - 将来のスタートアップやビジネスの世界で活躍する人材を育成するため、起業家精神の醸成や起業家的資質・能力の向上を目的に、市内中・高を対象に、静岡市にゆかりのある起業家等を講師としたキャリア教育の出前講座を実施



基本方針4 選ばれる「地域」を目指した本市プレゼンスの最大化



- 企業誘致・留置において、社会の大きな力を活用し、市有財産だけでなく民有資産等、社会全体の財産を含めた有効活用を図る。
- 本市各都心において、まちの魅力を高め、交流人口の増加や地域経済の活性化につなげるための検討、基本構想の策定を図る。

【成果目標①】 来訪者満足度 52.3%(R3,4平均)
↓
54.0%(R8)
56.0%(R12)

【成果目標②】 企業立地件数 延べ95件(H30-R3)
↓
延べ80件(R8)
延べ160件(R12)

企業誘致、留置の促進

- ✓ **【拡充】企業立地促進事業費補助金** R7当初予算：1,460,000千円
 - 先進分野企業などの市内進出、既存企業の生産性の拡大を図り、地域産業の高度化や活性化、新たな雇用の創出につなげるため、企業の市内での工場等の新增設、事務所賃借に係る経費を助成
- ✓ **企業立地用地開発推進事業** R7当初予算：20,270千円
 - 企業立地の導入部分である用地の確保など立地環境を充実させ、企業の市内進出等を促進するため、令和5年度の調査で抽出した開発候補地について、地権者の意向を踏まえた開発想定区域の設定などを実施し、民間事業者による開発を促進
- ✓ **【拡充】デジタルエンタテインメント企業誘致事業** R7当初予算：16,870千円
 - 若者にとって魅力ある雇用の創出や市内企業の高度化に繋げるため、首都圏等のデジタル関連企業が市内進出に向けて必要となる人材や物件の確保などについて支援し、企業立地を促進

まちの賑わいづくり

- ✓ **JR静岡駅北口国道横断検討事業** R7当初予算：21,000千円
 - 静岡市の顔となるJR静岡駅前を人が中心となるウォーカブルな空間に整備し、まちなかへの回遊性を高め、魅力あふれる空間の実現を図るため、国道1号横断に向けた調査検討を実施
- ✓ **東静岡地区まちづくり基本構想策定等事業** R7当初予算：57,600千円
 - 東静岡地区における公民共創によるまちづくりの推進に向け、まちの将来像を描くとともに、ロードマップや関係機関の役割分担等を明確化するための基本構想を策定
- ✓ **【拡充】アリーナ整備事業** R7当初予算：1,076,624千円
 - まちの魅力向上、文化振興、地域経済の活性化など、社会へ大きな波及効果が見込まれ、多彩なエンターテインメントやプロスポーツを本市にもたらす多目的アリーナを整備



重点的取組(主な事業)

①戦略産業の振興



<海洋産業>

- ✓ 駿河湾・海洋DX先端拠点化計画推進事業、三保飛行場利活用事業、海上活用研究等支援事業 ※すべて再掲
- ✓ **【新規】貝島地区土地活用事業** R7当初予算：49,300千円
 - ・ 貝島地区における海洋研究・技術開発の拠点化や、景観や水辺の魅力を活かした滞在エリアとして利活用を図るため、利用計画の策定やインフラ整備、地盤対策などを実施

<清水港・ロジスティクス産業>

- ✓ **中央卸売市場再整備あり方検討** R7当初予算：10,000千円
 - ・ 開場から45年余り経過する中央卸売市場について、施設老朽化や経済動向変遷に対応するため、再整備に向けた新たな将来構想を策定

<観光・ブランド産業>

- ✓ **プラモデル化計画推進事業** R7当初予算：29,890千円
 - ・ まちの賑わいや地域への愛着等を育み「プラモデルのまち」を体感できるよう、模型産業への単なる支援にとどまらず、プラモデルを活用したシティプロモーション、本市に根付く「ものづくり精神」を継承する人材育成など、総合的なまちづくりの施策を展開
- ✓ **【新規】ガストロノミーツーリズム推進事業** R7当初予算：32,709千円
 - ・ 来訪者が地域の食文化を知り、生産者や料理人との交流により豊かな食を楽しむことができるガストロノミーツーリズムにより、本市の食の魅力を広く国内外に発信し、国内外からの食に関心の高い富裕層を呼び込み、食による地域での観光消費額の増加につなげる。

②社会課題の解決に向けた横断的取組



<脱炭素社会の推進>

- ✓ **脱炭素先行地域づくり事業** R7当初予算：240,000千円
 - ・ 電力消費に伴うCO2排出量が実質ゼロになるための「脱炭素先行地域」の実現に向け、対象地域(日の出エリア、恩田原・片山エリア)における再エネ設備の導入等の整備事業を支援
- ✓ **【新規】森林カーボンクレジット創出促進事業** R7当初予算：60,000千円
 - ・ 民間事業者等による持続可能な森づくりへの取組のインセンティブとなる森林カーボンクレジット創出モデルの構築のため、適正な森林の管理によるCO2の吸収や生物多様性に関する優れたアイデアや技術等を有する事業者を公募・選定し、市内での森林カーボンクレジットの創出に向けた事業に対して経費を負担